

# 校内研究だより


NO. 2

川崎市立上丸子小学校校内研究ワーキング 令和元年 7月19日（金）

第2回校内授業研究（算数）の様子についてお知らせいたします。


## 4年生「くらべ方」

### 4年1組 「もとのねだんがちがうとき、どうやってくらべるのか考えよう」



数直線で表せるかな？

もとの数がちがうから…

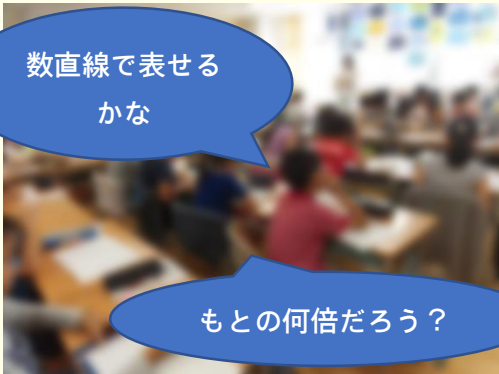


こっちも半分にしてもいいかな？

みんなに考えが伝わった


お店の商品の値上げについて、話し合いました。もとになる値段がそれぞれちがう時はどうやって比べるのか、困っていることや分からないことを明らかにして、ヒントを出し合いながら、理解を深めていきました。「もとになる数をそろえると方法やそろえたときの値上げ後の値段はどうなるか」子どもたちの思考に丁寧に寄り添いながら授業が展開されました。今後も一人一人の思考の深まりを大切にしていきます。

### 4年4組 「同じのび方をしているゴムを見つけるにはどのような図で表せばよいだろう」



数直線で表せるかな

もとの何倍だろう？



わかりやすい図だね。

こんな図もあるよ

倍や割合がわかりやすい図について、前時に学習したことを生かし、自分の考えをノートに書き、意欲的に取り組んでいました。話し合いでは、どのような意図で図に表したのかをみんなが納得できるように丁寧に説明し合っていました。友達の考えに「わかりやすいね。」「こっちもおもしろそう。」との声が上がっていました。子どもたちの思考を見取って支援しながら、全員で能動的に学習に参加できるようにしていきます。

## 2年生「100より大きい数」

### 2年1組「数の大きさを数はかせでくらべよう」

上丸子の運動会は、  
青組が優勝したね。

どれが一番大きいかな。

百の位の数は同じだけ  
ど、十の位は…。

どの位を見たら、早  
く比べられるかな？

1000未満の数の大小は、どのようにしたら比べられるのかについて考えました。運動会の得点という身近な題材が出てきたことで、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。一目見て、数字の大小をすぐ理解する中で「速く・簡単に・正確に」の「数はかせ」を意識しながら、何故そう言えるのかを伝え合う授業が展開されました。実感をもって分かりやすく伝え合う学習に臨めるよう支援しながら、学びに向かう力を育てていきます。

### 2年3組「大きな数を数の線であらわすためには1めもりをいくつにすればいいのかな」

1目盛りが  
1だと困るね。

1目盛りが表す  
数を変えよう。

1目盛りをいくつに  
すればいいかな。

10だと分かり  
やすくなるね。

大きな数を数直線に表すには、どうすればいいか話し合いました。1年生の時の1目盛りが1を表すという考え方では、160は長くなってしまふという困り感から、「1目盛りあたりの数を変えればよい」という声が子どもから上がっていました。話し合う場面ではボードを使い、考え方を書き込んでいくことで、より他の人に分かりやすく説明をする姿が見られました。今後も考え方を視覚化することで生まれる、対話の深まりを大事にしています。

## 2年5組「なん十どうしのたし算を数はかせならどうけいさんするのかな」



たし算の式になるね。

習ったことを使えば  
できそうだね。



考えが伝わったよ。

10のまとまりの  
考えを使おう。

何十と何十のたし算やひき算はどのように計算するのかについて、図や言葉、ブロックの板をかいたりして考えました。また、班の中で説明し合う活動を通して、クラス全員が他の人に説明する経験を積みました。互いに考え方を共有し、学びを深めていくことで着実な理解につながりました。今後も説明する活動を通して、どの子も自分の言葉で学んだことを生かし、出した答えについて説明できるようにしていきます。

次回の授業研究は9月11日（水）

個別級になります。